

日光医療センター通信



獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2011.8 第15号



主な内容

診療紹介（神経内科）	2
部門紹介（病理部）	3
旬を食べよう	4
医療クラーク（医師事務作業補助者の紹介）	4
管理課からのお知らせ	5
・エレベーター救出訓練を実施しました	
・消防訓練を実施しました	
・節電の実施について	
・外壁改修工事について	



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ **神経内科**

＜特徴・特色＞

神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診る内科です。人体には脳や脊髄から手足や内臓などの末梢へ、また末梢から脳や脊髄へ神経が走っており、体内で様々な情報の伝達がされており、これにより手足を動かすことができます。体を動かしたり、感じたりする事や、考えたり憶えたりすることが上手にできなくなったときにこのような病気を疑います。体のどこにどのような病気が隠れているかを診断するのが当科の得意とするところです。その上で骨や関節の病気がしびれや麻痺の原因なら整形外科に、手術などが必要なときは脳神経外科に御紹介します。また、当センターでは週2回の外来のみでの診療となっており、対応困難な場合は、他院を紹介させていただく場合がありますのでご容赦ください。

※ 神経内科は内科の一部で精神科ではありませんので、「こころの病気」は専門の先生を受診されることをお勧めいたします。

＜診療内容＞

- 脳卒中（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血）
- 頭痛（片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛など）、しびれ（三叉神経痛、後頭神経痛など）、めまいなど
- パーキンソン病などの変性疾患
- 認知症疾患（アルツハイマー病、血管性認知症など）の診療
- その他：顔面神経麻痺、眼瞼痙攣、片側顔面痙攣、本態性振戦、など

＜主な検査とその説明＞

● **頸椎・腰椎レントゲン写真**

頸椎や腰椎病変の診断のために行います。（手足のしびれなどの原因精査のために必要な検査です）

● **CT**

頭蓋内病変の検出に有用な検査です。特に、急性期の出血性病変の検出に有用です。病変を描出するために、造影剤を注射することもあります。（頭痛などの原因精査のために必要な検査です）

● **MRI**

頭蓋内および脊髄での細部の病変の検出に有用です。病変の性状を確認するため、造影剤を注射することもあります。

● **MRA**

造影剤を注射することなく、頸部および頭蓋内の主要血管の比較的大きな病変の検出のために行います。

● **超音波検査**

頸動脈や頭蓋内動脈など脳を環流する主要な血管の動脈硬化や狭窄、閉塞の有無を調べるために行います。

● **脳波**

大脳の活動電位を記録することで、各種てんかん発作、認知症などの診断や治療効果の判定、意識障害のある方の診断に有用な検査です。

＜神経内科外来担当表＞

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
担当医		岩波医員			斎須医員	

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 病理部

病理検査室は、3部屋（①受付・染色室、②標本作製・切り出し室、③診断・鏡検室）より構成されており、1号館2F、臨床検査部に隣接しています。

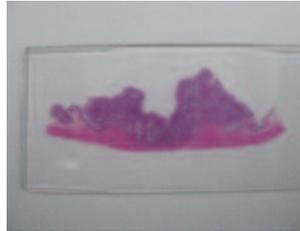
主な業務

1、組織診

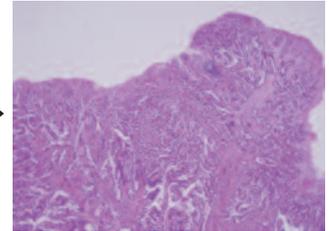
内視鏡検査や手術等により採取された組織（生検組織）を、顕微鏡で観察できるように、スライドガラス標本作製します。手術により摘出された臓器については、『病理専門医（以下病理医）』が病変を肉眼的に観察した後、切り出しを行います。その後、標本の作製を行い、顕微鏡を用いて組織学的異常の有無を検索し、『病理診断』を下します。また、必要に応じて『術中迅速診断』を行い、情報を提供し、必要に応じて『剖検（病理解剖）』も行っています。



（切り出し風景）



（組織標本（大腸がん））



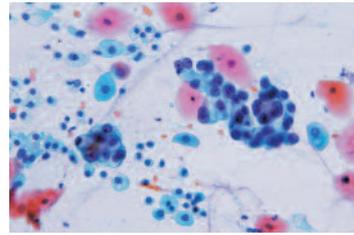
（組織標本拡大写真）

2、細胞診

いろいろな検査材料（喀痰、気管支擦過、尿、胸水、腹水、乳腺、甲状腺、胆汁等）から採取した細胞を塗抹固定し、標本作製した後、顕微鏡で異型（悪性）細胞の有無を調べます。最初はスクリーナーと呼ばれる『細胞検査士』が細胞のチェックを行います。『良性・悪性のいずれとも判定しがたい細胞（疑陽性、クラスⅢ、鑑別困難）』及び、『悪性を疑う細胞』、『悪性細胞』が見られた場合は、病理医が細胞診断を行っています。また、病理医と連携して、細胞検査士としての技術の向上を図っています。



（病理医との鏡検）



（喀痰中の悪性細胞）

スタッフ

病理部長以下、病理専門医1名

臨床検査技師3名 《1名：病理部（兼）臨床検査部》

（細胞検査士1名含む） 《2名：臨床検査部（兼）病理部》

病理医・加藤特任教授



最後に

病理部は、正確かつ迅速な組織診断、及び、細胞診断をモットーに、病気の診断・治療に必要な部として常に的確で精度の高い検査を行うよう、日々努力しています。

旬を食べよう

梨

日本で一般的に「なし」と呼ばれているのは、日本なしです。独特の歯ざわりとみずみずしさが魅力的な「なし」は、8月下旬から収穫が始まり、10月頃まで食べることができます。



《栄養》

なしは約90%が水分で、食物繊維やアミノ酸の一種であるアスパラギン酸、糖アルコールの一種であるソルビトールなどが含まれています。

なしのシャリシャリとした食感は石細胞によるものです。石細胞とは、難消化性の食物繊維で、腸のぜん動運動を促し、便秘の改善に効果があります。アスパラギン酸には、疲労を解消してくれる働きがあります。さらに、ソルビトールは、せきをとめたり、熱を下げたり、のどの消炎に効果があります。

《選び方》

- 軸がしっかりしていて、形が整っており、重みがあるもの
- 表面に張りがあり、黒い斑点や傷のないもの

《保存方法》

- 冷暗所では3～4日保存可能です。
- 冷蔵庫での保存であれば、新聞紙に包むかポリ袋に入れて1週間～10日位です。



《美味しい食べ方》

- 皮や種の周りは酸味が強いので、皮は厚めにむき、種の部分は大きく切り取るようにしましょう。
- 冷やしすぎると甘味が少なくなるので、食べる1～2時間くらい前に冷蔵庫で冷やしましょう。
- そのままデザートとして食べるのもいいですが、ジャムやサラダにしてもよいでしょう。
- なしにはタンパク質分解酵素が含まれています。お肉をやわらかくするために、すりおろしたなしにお肉を漬けておくのもよいでしょう。

なしは果汁が多くみずみずしい果物なので、長い残暑の水分補給・夏バテ防止に最適です。

だからといって、糖分も多めに含まれているので食べすぎには気をつけましょうね。

(管理栄養士)

医療クラーク（医師事務作業補助者）の紹介

「医療クラーク（医師事務作業補助者）」という職種をご存じでしょうか？

現在、私たちの担当する主な業務は、医師の指示の下に診断書などの文書作成補助、診療記録への代行入力、診療に関するデータ整理など、医師の事務作業の負担軽減を図るように協力・補助する役割になっています。



いわゆる患者様の窓口受付や診療報酬の保険請求業務などは、私たちの担当外業務になっています。

また、医師が外来診察を行う際に私たちが同席させていただくことや、病棟に出向いてご依頼の書類等に記入させていただくこともありますので、患者様及びご家族様には医療クラーク業務について、ご理解いただきご協力をお願い申し上げます。



管理課からのお知らせ

<エレベーター救出訓練を実施しました>

去る6月22日、地震によりエレベーター内への閉じ込め事故が発生した場合を想定した救出訓練を実施しました。

当センターのエレベーターは、地震が発生した場合、二次災害を防止するために、「地震時管制運転機能」（エレベーター運転中、一定規模の地震を感知すると、自動的に最寄り階にエレベーターが停止し、乗客が降りたことを感知した後、運転が停止する機能）が装備されています（実際に東日本大震災の本震及び余震で作動しました）ので、原則的に、エレベーター内へ閉じ込められることはありませんが、万が一に備え、迅速に対応できるよう定期的に訓練を実施しております。

なお、訓練を実施した際に、指導員から、「エレベーターに閉じ込められたことにより、息苦しくなるなどパニックを起こす方もいますが、室内は、空気を取り込むことができる隙間があり、酸欠状態に陥ることはないので、落ち着いて行動するよう案内して欲しい。」との助言がありました。

<消防訓練を実施しました>

去る7月6日（水）午後3時から、4階南病棟を火元として、火災が発生したことを想定した消防訓練を実施いたしました。

今回は、非常時における入院患者様等の安全確保を図ることを目的として、当センターの自衛消防隊が迅速かつ的確に通報連絡、初期消火、避難誘導等を行うといった総合訓練でした。総勢48名の訓練参加者は皆、各々の任務を真剣な面持ちで取り組んでいました。

当センターでは、訓練を通じ、日ごろから教職員が、災害に備えることの重要性を認識できるよう徹底を図っております。



<節電の実施について>

当センターでは、今夏の東京電力管内における電力供給力減少への対応として、院内の照明の一部消灯、空調の温度調節による節電を実施しております。また、男性職員は、5月23日～10月16日まで（予定）の間と例年より期間を長く設定し、軽装（ノーネクタイ・ノー上着）にて対応させていただきます。

節電への取り組みへのご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

<外壁改修工事実施について>

当センターでは、11月下旬までの予定で、1号館西病棟の外壁改修工事を実施しております。

工事期間中は、患者様をはじめ関係の皆様にご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。



病院への手紙にお答えいたします

～当センターの各所に設置してあります、ご意見箱に寄せられた
患者様からのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

ご意見・ご要望

●駐車場について

<56歳 男性>

駐車場がいつも満車で困ります。

A お答えいたします

駐車場不足につきまして、ご不便をおかけして申し訳ございません。
当センターでは、平成18年の開設当初から、駐車場不足問題解決のため、段階的に確保に努めて参りましたが、十分ではなく引き続き駐車場の確保に努めて参りました。

この度、敷地外に職員駐車場（約160台分）を新設したことにより、多くの患者様がスムーズに駐車していただけるようにいたしました。

なお、皆様にはすでにご案内のとおり、敷地内に駐車したままの入院ならびに午前中からの時間外面会はご遠慮いただきますよう改めてお願いいたします。

ご意見・ご要望

●便座クリーナーを設置して欲しい

<76歳 女性>

トイレに便座クリーナーが設置されているとありがたいです。

A お答えいたします

ご要望のありましたトイレの便座除菌クリーナーの設置に関しましては、1階トイレ、2階検査室前トイレ、3階健診部トイレに設置いたしました。

なお、病棟・外来のトイレについては一昨年に改修しましたことから、引き続き、日々、日常業務の中での点検を強化するなど美化に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

当センターと一緒に働いてみませんか？

看護職員募集中 平成24年度看護職員採用試験

2回目 9月24日(土)〔応募締め切り9月16日(金)〕

3回目 10月22日(土)〔応募締め切り10月14日(金)〕

平成23年度採用については、随時対応いたします。詳細なお問い合わせは
TEL 0288-76-1515 (内線270) 看護部

編集後記

東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

未曾有の大災害をもたらした、東日本大震災から5か月余りが経ちました。しかし、未だに原発事故の収束には具体的な目途が立たない状況で、様々な形で復興の歩みを阻害しています。

被災地東北地方は、編集子の第二の故郷とも言える程思い入れのある地域です。

そこに、大好きな海の風景がありました。

一日も早い、完全復興を願うばかりです。

がんばろう…ではなく、とにかく、今できることをしよう…

(104)

日光医療センター通信 第15号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成23年8月1日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

